

環境経営レポート

2025 年度

(対象期間: 2025 年4月1日 ～ 2026 年3月31日)

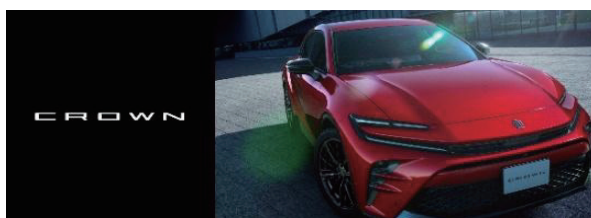


TUN トヨタユナイテッド奈良株式会社

発行日 2026年9月30日

目次

1. 会社概要	P-1
2. 環境経営組織 及び役割、責任・権限	P-2
3. 環境経営方針	P-4
4. 主な環境負荷実績	P-5
5. 環境経営目標及びその実績	P-6
6. 環境経営計画の取組結果・評価、次年度計画	P-7
7. 各事業所の取組紹介	P-8
8. 緊急事態対応の試行・訓練	P-9
9. 環境関連法規等への違反・訴訟等の有無	P-10
10. 代表者による全体の評価と見直し・指示	P-10



【1】 会社概要

(1) 事業所名

トヨタユニテッド奈良株式会社



(2) 所在地

奈良県奈良市南京終町2丁目269番地

(3) 代表者氏名

代表取締役社長 菊池 武之祐

(4) 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者 財務担当役員 和田 秀司
環境担当者 人事総務部 成田 充俊 今西 修
連絡先 TEL:0742-62-0033 FAX:0742-62-7100

(5) 事業内容

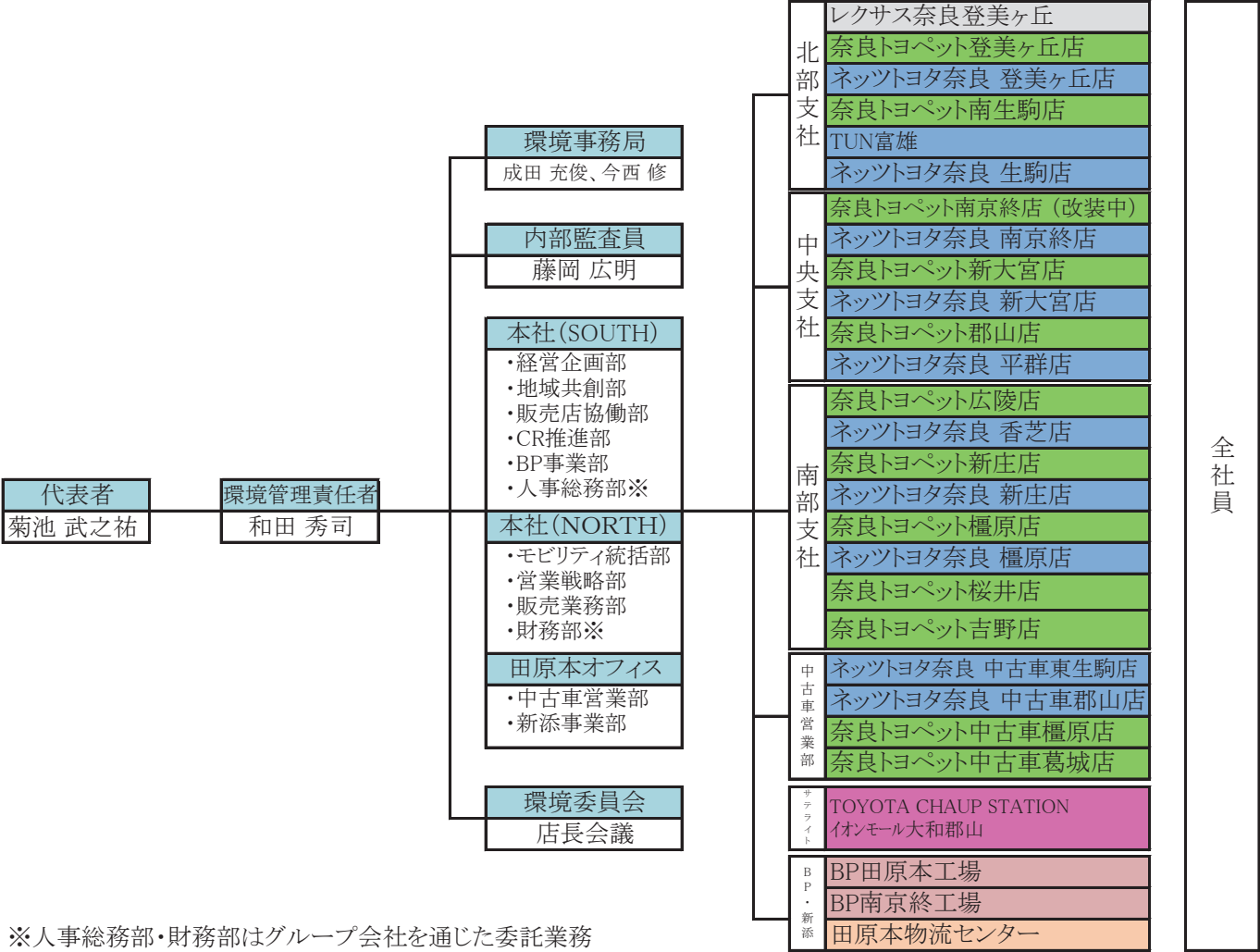
新車・中古車・電動車いすの販売及びリース、自動車の点検・整備・钣金修理、
自動車部品販売、保険代理業、携帯電話販売業

(6) 事業規模

・売上高	31,941百万円(2025年度)
・新車販売台数	5,942台(2025年度)
・社員数	656名(2026年9月30日現在)
・店舗数	新車:20店舗 中古車:4店舗 サテライト店舗:1店舗 BP工場:2拠点 新添事業部:1拠点

【2】 環境経営組織及び役割、責任・権限

更新日：2026年9月30日



北部支社

レクサス奈良登美ヶ丘

奈良トヨペット登美ヶ丘店

ネットヨタ奈良 登美ヶ丘店

奈良トヨペット南生駒店

TUN富雄

ネットヨタ奈良 生駒店

中央支社

奈良トヨペット南京終店 (改装中)

ネットヨタ奈良 南京終店

奈良トヨペット新大宮店

ネットヨタ奈良 新大宮店

奈良トヨペット郡山店

ネットヨタ奈良 平群店

南部支社

奈良トヨペット広陵店

ネットヨタ奈良 香芝店

奈良トヨペット新庄店

ネットヨタ奈良 新庄店

奈良トヨペット橿原店

ネットヨタ奈良 橿原店

奈良トヨペット桜井店

奈良トヨペット吉野店

中古車営業部

ネットヨタ奈良 中古車東生駒店

ネットヨタ奈良 中古車郡山店

奈良トヨペット中古車橿原店

奈良トヨペット中古車葛城店

サテライト

TOYOTA CHAUP STATION

イオンモール大和郡山

BP・新添

BP田原本工場

BP南京終工場

田原本物流センター

全社員

※人事総務部・財務部はグループ会社を通じた委託業務

※トヨペット南京終店は改装中で、ネットヨタ南京終店で営業中また、サービスは両店舗工場で稼働中

担当者・会議体	役割・責任および権限
代表取締役社長	環境経営の統括責任 必要な経営資源を準備 環境経営方針の策定・見直し その他の評価と見直し・指示
環境管理責任者	環境に関する実行責任者 環境経営計画の構築・運用 環境経営計画の取組み結果・評価を代表者に報告
環境事務局	環境管理責任者の補佐、環境委員会の事務局 各種帳票の作成・データの取りまとめ 環境経営目標・計画書案の作成 環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 環境経営レポートの作成、公開 環境経営に関する教育・訓練の企画・展開
内部監査員	環境に関する内部監査の実施
環境委員会	環境経営方針の周知、従業員に対する教育訓練の実施 環境経営目標達成に向けた取組実施 環境関連法規等遵守の取組 緊急事態対応試行訓練の実施・記録 問題点の是正・予防 管理者向け会議
全社員	環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚し、必要な環境教育訓練を受け、日常の環境活動に取り組む

(8) 当社事業所一覧

	店舗・事業所名	住 所
本社	本社(SOUTH)	奈良市南京終町二丁目269番地
	本社(NORTH)	奈良市南京終町一丁目155番地の1
北部支社	レクサス奈良登美ヶ丘	奈良市中登美ヶ丘六丁目8番7号
	奈良トヨペット登美ヶ丘店	奈良市中登美ヶ丘六丁目8番3号
	ネットヨタ奈良 登美ヶ丘店	奈良市中登美ヶ丘六丁目14番8号
	奈良トヨペット南生駒店	生駒市壱分町903番地
	TUN富雄	奈良市三碓二丁目7番地の14
	ネットヨタ奈良 生駒店	生駒市新生駒台4番7号
中央支社	奈良トヨペット南京終店	奈良市南京終町二丁目269番地
	ネットヨタ奈良 南京終店	奈良市南京終町一丁目155番地の1
	奈良トヨペット新大宮店	奈良市法華寺町148番地
	ネットヨタ奈良 新大宮店	奈良市法華寺町144番地の1
	奈良トヨペット郡山店	大和郡山市今国府町300番地
	ネットヨタ奈良 平群店	生駒郡平群町大字椿井730番地の1
南部支社	奈良トヨペット広陵店	北葛城郡広陵町大字平尾718番地の1
	ネットヨタ奈良 香芝店	香芝市上中830番
	奈良トヨペット新庄店	葛城市柿本64番地5
	ネットヨタ奈良 新庄店	葛城市柿本97番地10
	奈良トヨペット橿原店	橿原市葛本町522番地
	ネットヨタ奈良 橿原店	橿原市葛本町523番地の1
	奈良トヨペット桜井店	桜井市大字三輪142番地の2
	奈良トヨペット吉野店	吉野郡大淀町桧垣本774番地の5
中古車営業部	ネットヨタ奈良中古車 東生駒店	生駒市小明町2102番地の1
	ネットヨタ奈良中古車 郡山店	大和郡山市北西町135番地の3
	奈良トヨペット中古車 橿原店	橿原市葛本町523番地の1
	奈良トヨペット中古車 葛城店	葛城市柿本91番地1
サテライト	TOYOTA CHAUPY STATION イオンモール大和郡山	大和郡山市下三橋町741イオンモール大和郡山1F
B P・新添	田原本物流センター	磯城郡田原本町大字唐古363番地の1
	BP田原本工場	磯城郡田原本町大字唐古363番地の1
	BP南京終工場	奈良市南京終町二丁目273番地

(9) 事業年度 4月1日～3月31日

対象外: 無し

【3】 環境経営方針

《基本理念》

トヨタユニテッド奈良株式会社は、「モビリティを支え、つながりを育み、笑顔と安心を奈良に」という使命のもと、地域社会とともに持続可能な未来を築くことを目指します。

中でも環境保全は経営の重要課題と位置づけており革新性と誠実さをもって、環境負荷の低減に取り組む所存です。

環境保全への行動指針

1. 持続可能性の追求
CO₂削減などの環境に配慮した事業活動を推進し、資源の有効活用と廃棄物の削減に努めます。
2. 法令遵守と継続的改善
環境関連法規を遵守するとともに、環境経営システムの継続的な改善を図ります。
3. 社員の意識向上と参加
全社員が環境保全の重要性を理解し、自発的に行動できるよう教育・啓発活動を行います。
4. 地域社会との連携
地域とのコミュニケーションを大切にし、環境に優しい企業として社会に貢献します。
5. 3Rの推進
リデュース・リユース・リサイクルによる資源再生での付加価値の創出に努めます。
6. トヨタカーボンニュートラル活動
クルマ業界の使命である脱炭素環境車両の普及促進に努めると同時に、急ブレーキ・急発進を抑える交通安全にも寄与していきます。



トヨタユニテッド奈良株式会社
代表取締役社長 菊池 武之祐



制定日：2025年8月1日

【4】 主な環境負荷実績

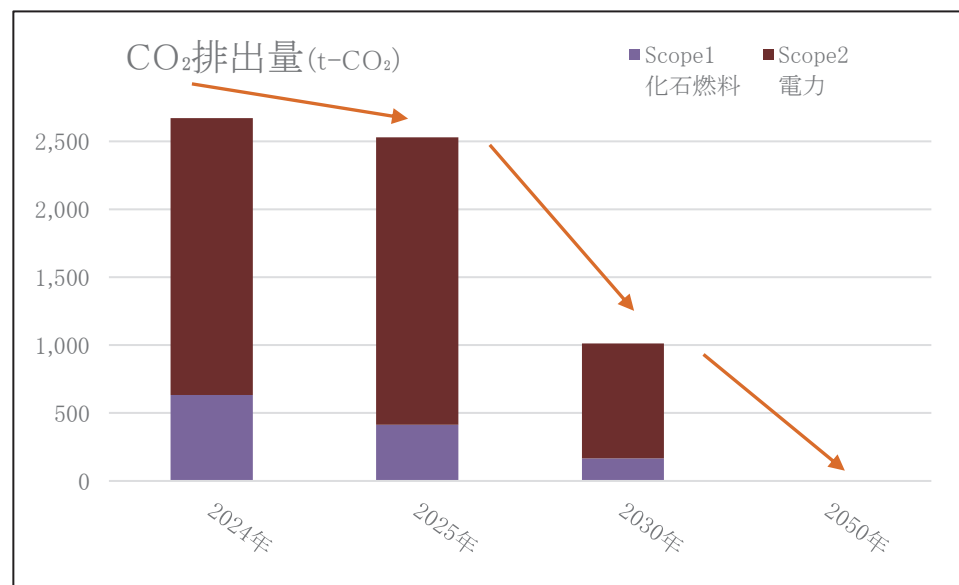
項 目	単位	2024年	2025年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	2,670,136	2,530,647
Scope1(化石燃料)	kg-CO ₂	633,706	414,409
Scope2(電力)	kg-CO ₂	2,036,430	2,116,238
廃棄物排出量			
一般廃棄物排出量	kg	22,405	21,819
産業廃棄物排出量(廃プラ)	kg	22,315	21,188
廃油	L	368,020	367,920
廃LLC	L	32,184	30,492
水使用量	m ³	26,423	25,100
化学物質使用量	kg	158	70
HV車比率	%	67%	68%
		0.619	0.619
		サミットエナジー	サミットエナジー

※電力(サミットエナジー二酸化炭素排出係数 kg-CO₂ (2025年度公開))

カーボンニュートラルに向けた我が社の取り組み

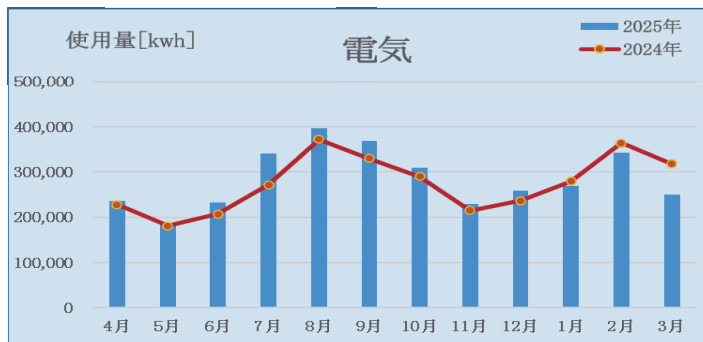
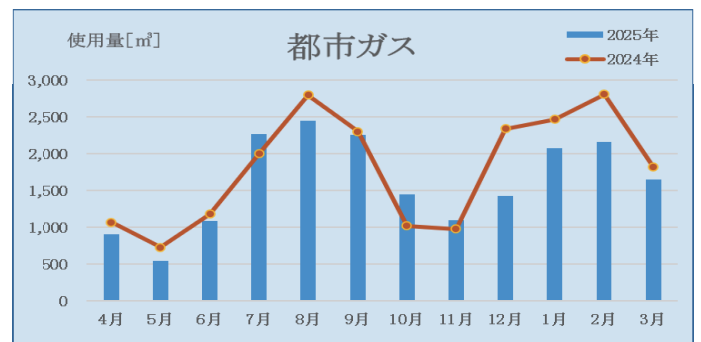
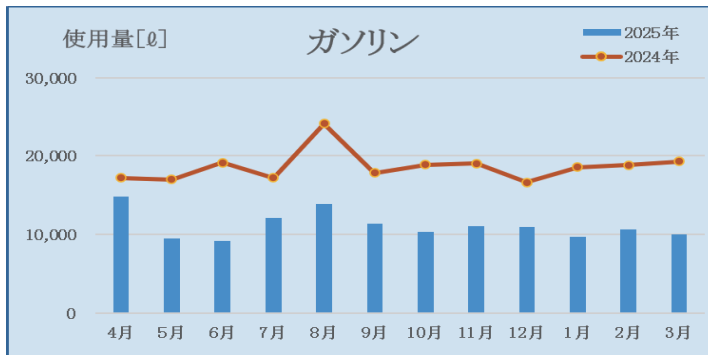
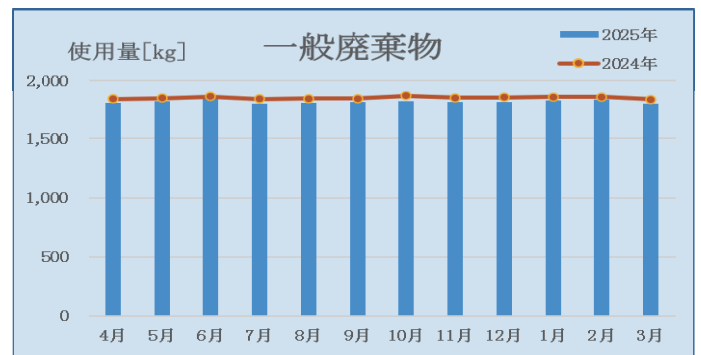
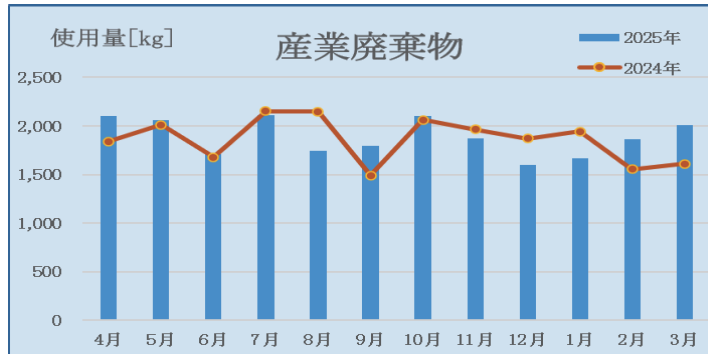
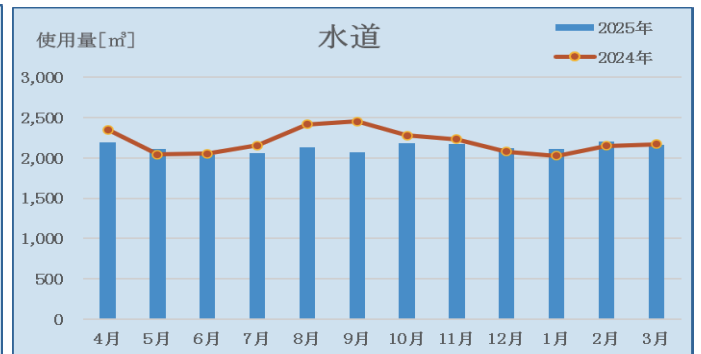
単位:t-CO₂

	Scope1 化石燃料	Scope2 電力	対 策
2024年	634	2,036	
2025年	414	2,116	省エネ+ハイブリッド車
2030年	166	846	省エネ+太陽光発電+電気自動車+再エネ電力
2050年	0	0	省エネ+太陽光発電+電気自動車+再エネ電力



【5】環境経営目標及びその実績

年 度 項 目		2024年度	2025年度		評 価	2026年度	2027年度
		(基準値)	(目標)	(実績)		(目標)	(目標)
電気使用量 kwh	対象期間	3,289,870	3,256,971	3,418,801	×	3,224,073	3,191,174
	基準年度比		99%	104%	×	98%	97%
都市ガス使用量 m ³	対象期間	21,496	21,066	19,357	○	20,851	20,636
	基準年度比		98%	90%	○	97%	96%
ガソリン使用量 ℓ	対象期間	223,240	218,776	133,686	○	118,317	116,085
	基準年度比		98%	60%	○	53%	52%
一般廃棄物 kg	対象期間	22,405	21,957	21,819	○	21,733	21,509
	基準年度比		98%	97%	○	97%	96%
産業廃棄物(廃プラ) kg	対象期間	22,315	21,200	21,188	○	20,976	20,753
	基準年度比		95%	95.0%	○	94%	93%
水道使用量 m ³	対象期間	26,423	25,102	25,100	○	24,573	24,309
	基準年度比		95%	95%	○	93%	92%
化学物質 kg	対象期間	158	142	70	○		
	基準年度比		90%	44%	○	40%	35%
HV比率 %	対象期間	67%	70%	68%	×		
	基準年増減率		3%	1%	×	72%	74%
課題を解決しチャンスを活かす取り組み	次項に取り組み項目を記載						
地域社会との連携	次項に「各事業所の取組紹介」と「これまでの環境活動紹介欄」に写真つきで記載						



【6】環境経営計画の取組結果・評価、次年度計画

数値目標：○達成 △あまりできなかった ×未達成

電気使用量 kwh	達成状況	取組結果・評価、次年度の取組計画
数値目標	×	取組期間4月～3月 (取組結果・評価)
・空調温度の適正化(冷房28℃ 暖房20℃)	△	サービス工場への空調設備導入と今夏の猛暑の影響で
・不要照明の消灯	△	電気使用量が増えた。空調温度の自動適正化を目的に
・空調機フィルター定期的な清掃	△	BEMSを導入したがデマンド設定が適正にできて
・残業時間の短縮	○	おらず、思った程の効果が得られなかった。 (次年度の取組計画)
		遮熱フィルム施工にて猛暑影響を抑え、空調管理及び BEMS設定見直し。
都市ガス使用量 m ³	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	取組期間4月～3月 (取組結果・評価)
・空調温度の適正化(冷房28℃ 暖房20℃)	△	今夏の猛暑の影響でGHPの使用量が増えた。 (次年度の取組計画)
		空調温度の適正化。
ガソリン使用量 l	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	取組期間4月～3月 (取組結果・評価)
・ZTA安全運転の普及・浸透	○	安全運転推進によりムダなガソリン消費量を抑えた。 (次年度の取組計画)
・エコカー普及促進	△	不要なアイドリングをやめ、エコ運転に努める。 トヨタのエコカー販売促進。
一般廃棄物 kg	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	取組期間4月～3月 (取組結果・評価)
・印刷物削減ペーパーレス	○	ゴミの分別徹底ならびにペーパーレスの推進。
・マイバック、マイコップ持参	○	マイバック、マイコップの推奨。 (次年度の取組計画)
・分別遵守	△	電子化の更なる強化。 お客様用紙コップからリサイクル可能な物へ変更検討。
産業廃棄物(廃プラ) kg	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	取組期間4月～3月 (取組結果・評価)
・作業ミスによる廃棄量の削減	○	正確な作業の促進によるミス防止。 (次年度の取組計画)
		作業ミス防止促進の継続。
水道使用量 m ³	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	取組期間4月～3月 (取組結果・評価)
・自動水栓取り付け	○	各拠点会議にて節水を呼び掛けた。 (次年度の取組計画)
・無駄な水の使用を無くす	○	拠点にて漏水の定期的な点検を実施。
基準年度実績	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	達成。次年度も継続して取り組んでいく。
・有害性物質の表示の徹底	○	
・作業ミスによる使用量増加の抑制	○	
・代替物質の検討	○	
HV車販売比率 %	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	×	未達成。HV以外のEVやPHVの販売が増えている。次年度も酷評を変 更せず、継続して取り組む
・環境に優しいHV車の販売促進	○	
エンジニア人材確保	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	未設定	課題の状況は変わらないので、今後とも掲げている3項目の計画を継 続的に取り組んでいく。
・職場環境の改善	○	
・資材高騰に対する対応	○	
・エンジニア人材の確保	○	

【7】各事業所の取組紹介

＜ネットトヨタ奈良 香芝店＞
コミュニティースペース



＜奈良トヨペット広陵店＞
まちじゅう図書館



＜奈良トヨペット橿原店＞
クーリングシェルター



＜奈良トヨペット吉野店＞
交通安全活動



これまでの環境活動の紹介

グリーンキャンペーン



給電協定



水素ステーション



アップサイクルサングラス



【8】

緊急事態対応の試行・訓練

緊急事態の想定：地震による火災発生	緊急事態の想定：地震による火災発生
■実施日：2025年10月8日	■実施日：2025年10月21日
■拠点名：奈良トヨペット南生駒店	■拠点名：奈良トヨペット橿原店・中古車橿原店・ネットヨタ奈良 橿原店
■参加者：15名	■参加者：51名
■実施内容： <div> ☒通報訓練 ☒消火訓練 ☒避難訓練 </div> <div>地震を想定した防災訓練</div>	■実施内容： <div> ☒通報訓練 ☒消火訓練 ☒避難訓練 </div> <div>地震を想定した防災訓練</div>
■評価：手順書の変更の必要性 <div> ☐あり ☒なし </div>	■評価：手順書の変更の必要性 <div> ☐あり ☒なし </div>
■実施状況の様子	■実施状況の様子
<div>   </div>	<div>   </div>

【9】 環境関連法規等への違反・訴訟等の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項(施設・物質・事業活動等)	
廃棄物処理法	一般廃棄物及び産業廃棄物の保管・排出	○
労働安全衛生法	安全管理・衛生管理・SDSの取得と周知	○
水質汚濁防止法	洗浄設備の設置	○
浄化槽法	浄化槽の使用	○
下水道法	除害施設の設置	○
消防法(危険物)	危険物の保管	○
フロン排出抑制法	業務用空調機の設置	○

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守しています。
なお、違反、訴訟、苦情等も過去3年間ありませんでした。

【10】 代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日：2026年6月25日

【総括コメント】

本年度(2025年4月～2026年3月)の環境経営活動においては、記録的な猛暑の影響や設備運用面の課題により、電力および都市ガス使用量の削減について改善すべき点が明確となりました。

一方で、今回が初めての本格的な全社的取り組みであったにもかかわらず、廃棄物削減、ペーパーレス化、水使用量削減、ガソリン使用量の適正化など、複数の分野で着実な成果を上げることができました。

これらの成果は、不慣れな点や試行錯誤がある中でも、各事業所および全社員が前向きに取り組み、日常業務の中で環境配慮を実践してきた結果であり、我々にとって大きな自信になりました。

次年度に向けては、実績を踏まえた環境目標および計画の見直しを検討し、特に空調管理や遮熱対策を中心としたエネルギー使用量削減の強化を図ります。あわせて、成果の見られた取り組みについては継続・深化させ、各部門における推進体制とPDCAを一層強化してまいります。環境経営は、持続可能な地域社会の実現と企業価値向上に直結する重要な経営課題です。今後も全社員とともに、着実な改善を積み重ねていくことを期待します。

環境経営方針
環境経営目標・計画
実施体制他

☒ 変更なし
☒ 変更なし
☒ 変更なし

☐ 変更あり
☐ 変更あり
☐ 変更あり

検討したところ目標計画の必要は無く継続して取り組む事。